



製造拠点の本社工場

- 本社所在地：大阪府東大阪市
- 事業概要：ペンチ・ニッパ等作業工具の開発・製造・販売
- 常時使用する従業員：116名  
（2025年12月時点）
- 現在の売上高：29億円  
（2024年12月期）
- 法人番号：2122001006350
- Web：https://www.fujiya-kk.com/

## 企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長  
野崎 恭伸

## 工具でもっと、ワクワクを。

○当社はペンチ・ニッパ等の作業工具製造業者として、創業から100余年「品質第一」を掲げ高性能な手工具の開発・製造を続けています。○従来の作業工具とは一線を画すデザイン性で人気を博してきた「KUROKIN」シリーズ等の高付加価値製品によって、お客様にワクワクを届けてきました。今後も新製品開発や海外展開等を通じ顧客に提供する価値を向上させ、100億企業への成長を目指します。○また、100億企業への飛躍的な発展を遂げることで、従業員への付加価値還元と待遇向上を図り、更なるやりがいを感じられる職場環境の構築を目指します。

## 売上高100億円実現の目標と課題

### 実現目標

- ・2034年の売上高100億円達成に向け、年率20%程度の成長を目指す。
- ・国内売上50億円、海外売上35億円、ファクトリーオートメーション事業（金属製品の研磨工程自動化用装置の開発、製造、販売）売上15億円で売上高100億を達成する。

### 課題

- ・デザイン部門の人員拡充等、製品開発部門の体制強化
- ・海外取引先の開拓
- ・拡販に伴う生産数量増加に対応するための製造体制整備
- ・ファクトリーオートメーション事業の販売体制強化
- ・シナジーの形成可能なM&A先の選定

## 売上高100億円実現に向けた具体的措置

### 目指す成長手段

- ・開発体制を強化し、お客様のあらゆるニーズに応える多様な工具・用品を展開することで国内売上を増加させる。
- ・海外取引先の開拓を進めることで日本の高品質な刃物技術を世界に広げる。
- ・老朽化した工場の建て替えに伴う製造工程効率化・生産技術力向上により、増加する受注に対応可能な生産体制を構築する。
- ・上記ファクトリーオートメーション事業について、取引先の開拓、実績の蓄積、営業体制の構築を進める。
- ・感度高くM&Aについて情報収集し、戦略的多角化を図る。

### 実施体制

- ・2026年より、コンスタントに人員採用を実施することで開発体制を強化する。
- ・SNSや代理店の工具商社等を活用し、品質・デザイン性をアピールすることで海外での認知を獲得する。
- ・建て替え後の新工場において、自動化設備の導入や設計変更による効率化等を通じ生産能力を向上させる。
- ・ファクトリーオートメーション事業におけるエンジニア採用・新工場活用等を通じ、拡販を図る。
- ・M&A仲介会社等の外部資源を有効に活用し、機動的なM&Aを実現する。

売上高100億円実現に向けてのアクション

・以下4点を基軸に、売上高100億円の実現を目指す。①「職人丸ごと」のビジョンを基に職人のニーズに応える多様な工具を開発する、②日本の高品質な刃物技術を世界に広げ海外展開を強化する、③作業工具の製造により蓄積された金属加工への知見を基盤とした、ファクトリーオートメーション（FA）事業を推進する、④機動的なM&Aにより事業多角化を加速させる。

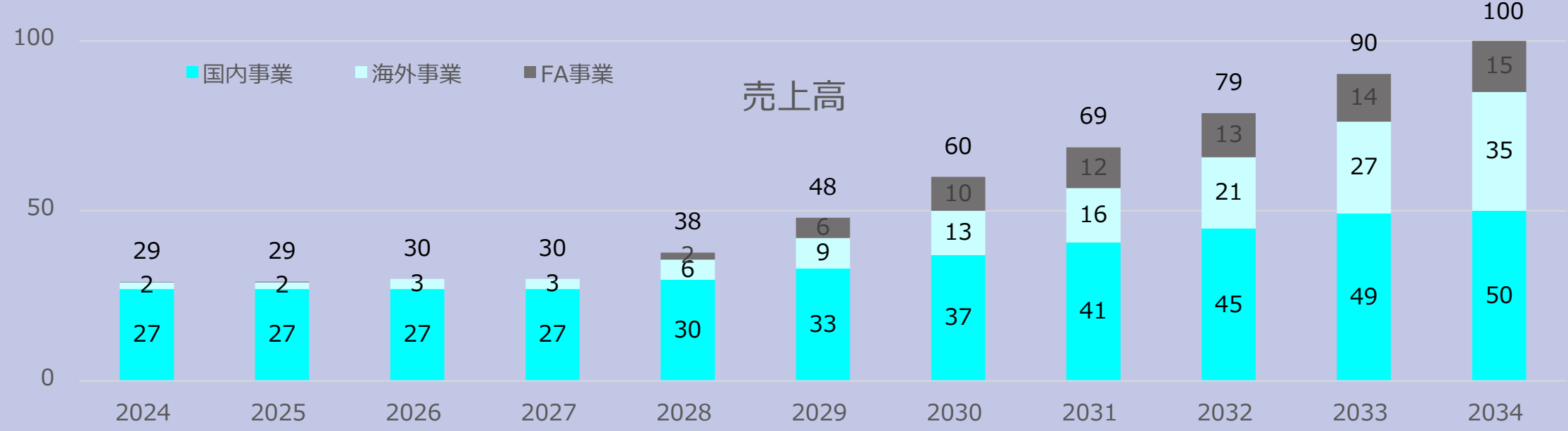
・上記4点を達成するための具体的なアクションは以下。

①：当社は工具メーカーながらデザイン部門を有するなど、製品開発を非常に重視しており、それがデザイン性を高めたヒット商品「KUROKIN」シリーズの開発にもつながっている。更なる高品質な工具開発・製造のため、老朽化した工場を建て替え生産体制を整備し、採用力を強化して開発人員の増強を図る。

②：2026年より海外に営業人員を滞在させると共に、SNS・代理店を活用したマーケティングを実施し認知拡大・新規拡販を図る。伴って生産数量の増加が見込まれるため、老朽化した工場を建て替え生産自動化を進めることで、増産に対応可能な製造体制を構築する。

③：当社は現在、蓄積された金属加工に係る知見を活かし金属製品の研磨工程を自動化する設備の開発を行っており、大手メーカー等で試験的な導入が進んでいる。今次建て替え予定の工場にて、本事業推進のため二階部分を開発・営業拠点として活用し拡販を図る。

④：当社はこれまでも、積極的なM&Aを通じ事業多角化・業界再編を図ってきた。今後も、M&A仲介会社との密なコミュニケーション等によって外部資源を有効に活用し、事業拡大を図る。



100億  
達成